

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月19日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 T&Dホールディングス  
コード番号 8795 URL <http://www.td-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮戸 直輝

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 坂井 啓三

四半期報告書提出予定日 平成21年11月27日

TEL 03-3434-9151

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月中間期	1,139,243	△10.3	46,852	36.2	14,429	290.4
20年9月中間期	1,269,891	11.5	34,388	△65.9	3,696	△88.8

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
21年9月中間期	52.71	—
20年9月中間期	15.01	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月中間期	12,693,352	433,558	3.4	1,577.29
21年3月期	12,498,562	296,393	2.4	1,076.35

(参考) 自己資本 21年9月中間期 431,784百万円 21年3月期 294,656百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	45.00	45.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,010,000	△20.9	78,000	—	18,000	—	65.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月中間期	273,930,000株	21年3月期	273,930,000株
② 期末自己株式数	21年9月中間期	178,345株	21年3月期	175,434株
③ 期中平均株式数(中間期)	21年9月中間期	273,752,750株	20年9月中間期	246,226,310株

#### (個別業績の概要)

1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月中間期	14,124	△22.7	12,376	△25.3	11,691	△29.3	11,879	△28.0
20年9月中間期	18,265	3.1	16,566	2.5	16,534	2.5	16,494	2.7

1株当たり中間純利益	
	円 銭
21年9月中間期	43.40
20年9月中間期	66.99

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
21年9月中間期	769,263		648,910		84.4		2,370.43	
21年3月期	792,334		649,357		82.0		2,372.04	

(参考) 自己資本 21年9月中間期 648,910百万円 21年3月期 649,357百万円

2. 平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△20.1	12,000	△28.8	11,000	△31.3	11,000	△31.4	40.18

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。
2. 実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。連結業績予想・個別業績予想についての詳細は7項「4. 業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますのでご参照願います。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険料等収入 8,945 億円（前年同期比 5.0%増）、資産運用収益 2,090 億円（同 0.1%減）、その他経常収益 356 億円（同 82.9%減）等を合計した結果、前中間連結会計期間に比べ 1,306 億円減少し、1兆1,392 億円（同 10.3%減）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金 8,031 億円（同 15.0%減）、責任準備金等繰入額 752 億円（同 1%）、資産運用費用 702 億円（同 50.8%減）、事業費 1,042 億円（同 1.7%減）、その他経常費用 394 億円（同 4.9%減）等を合計した結果、前中間連結会計期間に比べ 1,431 億円減少し、1兆923 億円（同 11.6%減）となりました。

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、前中間連結会計期間に比べ 124 億円増加し、468 億円（同 36.2%増）となりました。経常利益が増加したのは主に、利息及び配当金等収入や有価証券売却益が減少した一方、有価証券売却損および有価証券評価損が減少したことによります。

特別利益は 4 億円（同 79.2%減）、特別損失は 76 億円（同 247.4%増）となりました。特別損失は主に、価格変動準備金繰入額 69 億円（同 377.0%増）であります。

経常利益に特別利益、特別損失、契約者配当準備金繰入額、法人税等合計等を加減した中間純利益は、前中間連結会計期間に比べ107億円増加し、144億円（同290.4%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は 12兆6,933 億円（前連結会計年度末比 1.6%増）となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券 8兆8,047 億円（同 7.1%増）、貸付金 2兆2,515 億円（同 1.3%減）、買入金銭債権 3,462 億円（同 21.9%減）、有形固定資産 3,047 億円（同 1.3%減）、コールローン 2,715 億円（同 31.7%減）であります。

負債合計は 12兆2,597 億円（同 0.5%増）となりました。その大部分を占める保険契約準備金は 11兆7,620 億円（同 0.5%増）となっております。

純資産合計は 4,335 億円（同 46.3%増）となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は 488 億円（前連結会計年度末は△862 億円）となっております。

## (2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは主に、保険料等収入が増加するとともに、保険金等支払金が減少したことにより、前中間連結会計期間の1,330億円の支出から1,113億円の収入（2,444億円の収入増）に転じました。

投資活動によるキャッシュ・フローは主に、有価証券の取得による支出が増加するとともに有価証券の売却・償還による収入が減少したことにより、前中間連結会計期間の2,086億円の収入から、2,375億円の支出（4,462億円の支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは主に、借入れによる収入および短期社債の発行による収入が増加したことにより、前中間連結会計期間の201億円の支出から、214億円の収入（416億円の収入増）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は、期首から1,050億円減少し、1兆2,152億円となりました。

### 3. 生命保険会社3社（単体）に関する事項

#### (1) 経営成績に関する定性的情報

##### ■太陽生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入 3,569 億円（前年同期比 12.9%増）、資産運用収益 901 億円（同 20.4%減）、その他経常収益 488 億円（同 61.8%減）を合計した結果、前中間会計期間に比べ 614 億円減少し、4,959 億円（同 11.0%減）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金 3,818 億円（同 8.9%減）、資産運用費用 241 億円（同 55.6%減）、事業費 402 億円（同 4.7%増）等を合計した結果、前中間会計期間に比べ 676 億円減少し、4,683 億円（同 12.6%減）となりました。

この結果、経常利益は、前中間会計期間に比べ 62 億円増加し、276 億円（同 29.1%増）となりました。経常利益が増加したのは主に、有価証券売却益が減少した一方、有価証券売却損および有価証券評価損が減少したことによります。

特別利益は 3 億円（同 66.0%減）、特別損失は 65 億円（同 1%）となりました。特別損失は主に、価格変動準備金繰入額 59 億円（同 1%）であります。

中間純利益は、前中間会計期間に比べ 24 億円増加し、109 億円（同 28.3%増）となりました。

なお、基礎利益（生命保険本業の期間収益を示す指標の一つ）は、逆ざや 88 億円（同 26.8%減）を埋め合わせたうえで、235 億円（同 0.0%減）となりました。

##### ■大同生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入 3,923 億円（前年同期比 5.3%減）、資産運用収益 608 億円（同 33.6%減）、その他経常収益 445 億円（同 64.0%減）を合計した結果、前中間会計期間に比べ 1,320 億円減少し、4,977 億円（同 21.0%減）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金 3,857 億円（同 19.9%減）、資産運用費用 268 億円（同 51.7%減）、事業費 547 億円（同 6.3%減）等を合計した結果、前中間会計期間に比べ 1,284 億円減少し、4,760 億円（同 21.2%減）となりました。

この結果、経常利益は、前中間会計期間に比べ 36 億円減少し、217 億円（同 14.2%減）となりました。経常利益が減少したのは主に、有価証券評価損が減少し、売買目的有価証券運用損益が改善した一方、利息及び配当金等収入が減少したことによります。

特別利益は 0 億円（同 98.0%減）、特別損失は 10 億円（同 41.6%減）となりました。特別損失は主に、価格変動準備金繰入額 9 億円（同 25.5%減）であります。

中間純利益は、前中間会計期間に比べ 15 億円増加し、56 億円（同 36.7%増）となりました。

なお、基礎利益は、逆ざや 223 億円（前年同期は 70 億円の順ざや）を埋め合わせたうえで、263 億円（前年同期比 51.1%減）となりました。

■T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入1,450億円（前年同期比19.5%増）、資産運用収益594億円（同一%）、その他経常収益41億円（同19.0%減）を合計した結果、前中間会計期間に比べ768億円増加し、2,087億円（同58.2%増）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金354億円（同18.1%減）、責任準備金等繰入額1,478億円（同145.0%増）、資産運用費用185億円（同43.6%減）、事業費81億円（同0.7%増）等を合計した結果、前中間会計期間に比べ653億円増加し、2,113億円（同44.8%増）となりました。

この結果、経常損失は、前中間会計期間に比べ114億円改善し、26億円（同81.2%減）となりました。

中間純損失は、前中間会計期間に比べ80億円改善し、18億円（同81.0%減）となりました。

なお、基礎利益は、173億円（前中間会計期間は△131億円）となりました。また、逆ざやは18億円（前年同期比0.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

■太陽生命保険株式会社

当中間会計期間末の総資産は5兆7,695億円（前事業年度末比0.0%減）となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券3兆6,926億円（同0.5%増）、貸付金1兆4,753億円（同1.2%減）、有形固定資産1,608億円（同1.0%減）、買入金銭債権1,440億円（同0.9%減）、コールローン1,248億円（同26.6%増）であります。

負債の部合計は5兆5,831億円（同0.8%減）となりました。その大部分を占める保険契約準備金は5兆4,401億円（同0.7%減）となっております。

純資産の部合計は1,864億円（同27.9%増）となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は366億円（同一%）となっております。

保険会社の健全性を示す行政監督上の指標のうち、ソルベンシー・マージン比率は987.6%（前事業年度末は866.4%）となりました。また、実質純資産（時価ベースの実質的な資産から資本性のない実質的な負債を差引いた額）は4,081億円（前事業年度末は3,304億円）となりました。

■大同生命保険株式会社

当中間会計期間末の総資産は5兆5,141億円（前事業年度末比0.8%増）となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券3兆9,265億円（同11.5%増）、貸付金7,892億円（同1.6%減）、買入金銭債権2,021億円（同32.1%減）、有形固定資産1,390億円（同1.2%減）、コールローン1,297億円（同52.8%減）であります。

負債の部合計は5兆2,303億円（同1.0%減）となりました。その大部分を占める保険契約準備金は5兆599億円（同0.9%減）となっております。

純資産の部合計は2,838億円（同52.6%増）となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は124億円（前事業年度末は△860億円）となっております。

ソルベンシー・マージン比率は1,008.9%（前事業年度末は820.7%）となりました。また、実質純資産は5,488億円（前事業年度末は4,462億円）となりました。

■T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

当中間会計期間末の総資産は1兆3,175億円(前事業年度末比12.5%増)となりました。

主な資産構成は、有価証券1兆1,845億円(同15.6%増)、金銭の信託531億円(同17.8%減)、現金及び預貯金216億円(同13.8%増)、コールローン170億円(同29.2%減)であります。

負債の部合計は1兆2,718億円(同13.1%増)となりました。その大部分を占める保険契約準備金は1兆2,608億円(同13.3%増)となっております。

純資産の部合計は457億円(同2.8%減)となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は△6億円(同44.2%減)となっております。

ソルベンシー・マージン比率は764.6%(前事業年度末は836.8%)となりました。また、実質純資産は931億円(前事業年度末は871億円)となりました。

(参考) 契約業績の状況

■太陽生命保険株式会社

当中間会計期間の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高(転換による純増加を含みます)は、1兆2,380億円(前年同期比59.0%増)となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、5,629億円(同5.9%減)となりました。

以上の結果、当中間会計期間末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、17兆7,331億円(同3.9%増、前事業年度末比2.2%増)となりました。

■大同生命保険株式会社

当中間会計期間の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高(転換による純増加を含みます)は、1兆7,726億円(前年同期比15.0%減)となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、2兆510億円(同8.1%増)となりました。

以上の結果、当中間会計期間末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、37兆7,966億円(同4.5%減、前事業年度末比2.1%減)となりました。

■T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

当中間会計期間の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高(転換は取り扱っておりません)は、1,316億円(前年同期比24.2%増)となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、568億円(同20.8%減)となりました。

以上の結果、当中間会計期間末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、2兆1,993億円(同0.0%減、前事業年度末比3.7%増)となりました。

#### 4. 業績予想に関する定性的情報

##### (1) 連結

平成21年3月期決算短信(平成21年5月19日公表)で公表いたしました、下記業績予想からの修正はありません。

(単位：億円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
通 期	20,100 (20.9%減)	780 (－)	180 (－)

(注) 括弧内は、対前期増減率。

(参考) 生命保険会社3社(単体)の通期業績予想

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフイナンシャル生命
経常収益	9,100 (18.2%減)	9,700 (22.4%減)	2,700 (5.4%減)
経常利益(△損失)	410 (－)	500 (－)	△140 (47.8%減)
うち基礎利益(△損失)	500 (11.1%増)	550 (－)	△40 (90.2%減)
当期純利益(△損失)	110 (－)	170 (－)	△100 (49.5%減)

(注) 括弧内は、対前期増減率。但し、「△損失」の場合の「減」は損失縮小を表しております。

##### (2) 個別

平成21年3月期決算短信(平成21年5月19日公表)で公表いたしました、下記業績予想からの修正はありません。また、1株当たり年間配当金についても修正はありません。

(単位：億円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
通 期	160 (20.1%減)	120 (28.8%減)	110 (31.3%減)	110 (31.4%減)

(注) 括弧内は、対前期増減率。

#### 5. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

6. 中間連結財務諸表  
 (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	244,241	319,643
コールローン	271,500	397,500
買入金銭債権	346,254	443,212
金銭の信託	72,962	78,112
有価証券	8,804,722	8,218,502
貸付金	2,251,557	2,280,772
有形固定資産	304,718	308,604
無形固定資産	22,605	23,444
代理店貸	1,129	1,233
再保険貸	11,582	10,422
その他資産	180,165	191,792
繰延税金資産	192,694	227,992
貸倒引当金	△10,782	△2,671
<b>資産の部合計</b>	<b>12,693,352</b>	<b>12,498,562</b>
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	11,762,092	11,699,006
支払備金	68,630	71,474
責任準備金	11,555,231	11,480,401
契約者配当準備金	138,229	147,129
代理店借	994	604
再保険借	376	450
短期社債	19,994	9,994
その他負債	283,758	306,659
役員賞与引当金	126	160
退職給付引当金	118,005	118,040
役員退職慰労引当金	4,430	4,123
特別法上の準備金	59,419	52,453
価格変動準備金	59,419	52,453
繰延税金負債	11	—
再評価に係る繰延税金負債	10,583	10,674
<b>負債の部合計</b>	<b>12,259,794</b>	<b>12,202,169</b>

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
資本金	147,637	147,637
資本剰余金	135,145	135,145
利益剰余金	148,860	146,616
自己株式	△933	△927
株主資本合計	430,709	428,471
その他有価証券評価差額金	48,834	△86,246
繰延ヘッジ損益	246	348
土地再評価差額金	△47,926	△47,805
為替換算調整勘定	△79	△110
評価・換算差額等合計	1,075	△133,814
少数株主持分	1,773	1,736
純資産の部合計	433,558	296,393
負債及び純資産の部合計	12,693,352	12,498,562

## (2) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
経常収益	1,269,891	1,139,243
保険料等収入	852,033	894,550
資産運用収益	209,257	209,040
利息及び配当金等収入	140,018	109,957
金銭の信託運用益	3,355	—
売買目的有価証券運用益	—	967
有価証券売却益	64,485	35,283
その他運用収益	1,398	1,265
特別勘定資産運用益	—	61,566
その他経常収益	208,577	35,645
責任準備金戻入額	168,968	—
その他の経常収益	39,608	35,645
持分法による投資利益	23	7
経常費用	1,235,503	1,092,390
保険金等支払金	944,566	803,134
保険金	344,111	287,485
年金	94,125	98,399
給付金	149,432	140,225
解約返戻金	216,027	211,338
その他返戻金	140,870	65,685
責任準備金等繰入額	450	75,251
責任準備金繰入額	—	74,830
契約者配当金積立利息繰入額	450	421
資産運用費用	142,954	70,285
支払利息	1,004	1,465
金銭の信託運用損	—	18,458
売買目的有価証券運用損	8,052	—
有価証券売却損	28,072	10,693
有価証券評価損	41,686	7,825
金融派生商品費用	14,010	9,525
為替差損	2,540	1,261
貸倒引当金繰入額	—	8,137
貸付金償却	6	33
賃貸用不動産等減価償却費	2,752	2,679
その他運用費用	8,208	10,203
特別勘定資産運用損	36,620	—
事業費	106,024	104,237
その他経常費用	41,508	39,482
経常利益	34,388	46,852

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
特別利益	1,935	402
固定資産等処分益	647	343
貸倒引当金戻入額	1,190	—
償却債権取立益	49	28
その他特別利益	47	30
特別損失	2,195	7,627
固定資産等処分損	654	459
減損損失	—	184
価格変動準備金繰入額	1,460	6,965
その他特別損失	81	17
契約者配当準備金繰入額	17,206	12,609
税金等調整前中間純利益	16,920	27,018
法人税及び住民税等	22,689	516
法人税等調整額	△9,482	11,981
法人税等合計	13,206	12,497
少数株主利益	18	91
中間純利益	3,696	14,429

## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
前期末残高	118,595	147,637
当中間期末残高	118,595	147,637
<b>資本剰余金</b>		
前期末残高	106,106	135,145
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	106,106	135,145
<b>利益剰余金</b>		
前期末残高	251,934	146,616
当中間期変動額		
剰余金の配当	△16,005	△12,318
中間純利益	3,696	14,429
自己株式の処分	—	△1
土地再評価差額金の取崩	14	135
当中間期変動額合計	△12,294	2,244
当中間期末残高	239,640	148,860
<b>自己株式</b>		
前期末残高	△638	△927
当中間期変動額		
自己株式の取得	△83	△10
自己株式の処分	9	3
当中間期変動額合計	△74	△6
当中間期末残高	△712	△933
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	475,998	428,471
当中間期変動額		
剰余金の配当	△16,005	△12,318
中間純利益	3,696	14,429
自己株式の取得	△83	△10
自己株式の処分	9	2
土地再評価差額金の取崩	14	135
当中間期変動額合計	△12,368	2,238
当中間期末残高	463,630	430,709

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	246,874	△86,246
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△191,566	135,081
当中間期変動額合計	△191,566	135,081
当中間期末残高	55,307	48,834
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	571	348
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△202	△102
当中間期変動額合計	△202	△102
当中間期末残高	368	246
土地再評価差額金		
前期末残高	△48,014	△47,805
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△14	△121
当中間期変動額合計	△14	△121
当中間期末残高	△48,029	△47,926
為替換算調整勘定		
前期末残高	24	△110
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△45	31
当中間期変動額合計	△45	31
当中間期末残高	△20	△79
評価・換算差額等合計		
前期末残高	199,455	△133,814
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△191,829	134,889
当中間期変動額合計	△191,829	134,889
当中間期末残高	7,625	1,075
少数株主持分		
前期末残高	1,820	1,736
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△11	37
当中間期変動額合計	△11	37
当中間期末残高	1,808	1,773

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
純資産合計		
前期末残高	677,273	296,393
当中間期変動額		
剰余金の配当	△16,005	△12,318
中間純利益	3,696	14,429
自己株式の取得	△83	△10
自己株式の処分	9	2
土地再評価差額金の取崩	14	135
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△191,840	134,927
当中間期変動額合計	△204,209	137,165
当中間期末残高	473,064	433,558

## (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	16,920	27,018
賃貸用不動産等減価償却費	2,752	2,679
減価償却費	6,226	6,116
減損損失	—	184
支払備金の増減額 (△は減少)	△1,725	△2,844
責任準備金の増減額 (△は減少)	△168,968	74,830
契約者配当準備金積立利息繰入額	450	421
契約者配当準備金繰入額 (△は戻入額)	17,206	12,609
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,192	8,111
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△103	△34
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,027	△35
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△258	307
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	1,460	6,965
利息及び配当金等収入	△140,018	△109,957
有価証券関係損益 (△は益)	49,945	△79,298
支払利息	1,004	1,465
為替差損益 (△は益)	2,401	1,445
有形固定資産関係損益 (△は益)	△421	△116
持分法による投資損益 (△は益)	△23	△7
代理店貸の増減額 (△は増加)	132	103
再保険貸の増減額 (△は増加)	△815	△1,159
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	△6,337	10,567
代理店借の増減額 (△は減少)	765	390
再保険借の増減額 (△は減少)	△92	△74
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△3,565	1,056
その他	17,686	37,092
小計	△205,541	△2,160
利息及び配当金等の受取額	141,660	108,700
利息の支払額	△984	△1,504
契約者配当金の支払額	△26,711	△22,017
その他	△1,288	△1,345
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△40,212	29,723
営業活動によるキャッシュ・フロー	△133,079	111,396

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預貯金の純増減額 (△は増加)	△1,420	500
買入金銭債権の取得による支出	△36,290	△4,497
買入金銭債権の売却・償還による収入	34,378	7,296
金銭の信託の増加による支出	△8,600	△18,100
金銭の信託の減少による収入	40,879	4,750
有価証券の取得による支出	△1,779,815	△1,888,510
有価証券の売却・償還による収入	1,942,662	1,685,950
貸付けによる支出	△259,305	△236,225
貸付金の回収による収入	289,145	266,943
その他	△10,997	△54,200
資産運用活動計	210,636	△236,092
<b>営業活動及び資産運用活動計</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,359	△1,999
有形固定資産の売却による収入	1,400	533
投資活動によるキャッシュ・フロー	208,677	△237,558
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期社債の発行による収入	—	9,997
短期社債の償還による支出	△8,005	—
借入れによる収入	7,300	27,800
借入金の返済による支出	△3,717	△4,134
リース債務の返済による支出	△10	△46
自己株式の取得による支出	△83	△10
自己株式の処分による収入	9	2
配当金の支払額	△15,618	△12,058
少数株主への配当金の支払額	△31	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,158	21,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,286	△339
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	53,154	△105,010
現金及び現金同等物の期首残高	982,596	1,320,251
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,035,750	1,215,240

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)、当中間連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当社及び連結子会社は生命保険事業以外にリース業等の事業を営んでおりますが、生命保険事業の経常収益及び経常利益の金額は、全セグメントの経常収益の合計及び経常利益の合計に占める割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報は記載を省略しております。

なお、投資事業は生命保険事業の一環として行っており、独立したセグメントではありません。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)、当中間連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの収益の合計に占める本邦の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前中間連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)、当中間連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高(経常収益)が連結売上高(経常収益)の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

7. 中間財務諸表  
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間会計期末 (平成21年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,207	796
有価証券	18,000	16,000
その他	4,400	29,853
流動資産合計	23,607	46,649
固定資産		
有形固定資産	103	109
無形固定資産	7	8
投資その他の資産		
関係会社株式	743,709	743,709
その他	1,834	1,857
投資その他の資産合計	745,544	745,566
固定資産合計	745,655	745,684
資産合計	769,263	792,334
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	36	10
その他	5,547	28,244
流動負債合計	5,583	28,255
固定負債		
長期借入金	112,700	112,700
役員退職慰労引当金	523	476
その他	1,545	1,545
固定負債合計	114,768	114,721
負債合計	120,352	142,976
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	147,637	147,637
資本剰余金		
資本準備金	479,945	479,945
資本剰余金合計	479,945	479,945
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	22,260	22,701
利益剰余金合計	22,260	22,701
自己株式	△933	△927
株主資本合計	648,910	649,357
純資産合計	648,910	649,357
負債純資産合計	769,263	792,334

## (2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業収益		
関係会社受取配当金	16,494	12,360
関係会社受入手数料	1,771	1,763
営業収益合計	18,265	14,124
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,698	1,747
営業利益	16,566	12,376
営業外収益	49	33
営業外費用	81	718
経常利益	16,534	11,691
特別利益	—	12
税引前中間純利益	16,534	11,704
法人税、住民税及び事業税	17	△197
法人税等調整額	22	21
法人税等合計	40	△175
中間純利益	16,494	11,879

## (3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	118,595	147,637
当中間期末残高	118,595	147,637
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	450,903	479,945
当中間期末残高	450,903	479,945
その他資本剰余金		
前期末残高	3	—
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	3	—
資本剰余金合計		
前期末残高	450,907	479,945
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	450,907	479,945
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	22,684	22,701
当中間期変動額		
剰余金の配当	△16,005	△12,318
中間純利益	16,494	11,879
自己株式の処分	—	△1
当中間期変動額合計	489	△440
当中間期末残高	23,174	22,260
利益剰余金合計		
前期末残高	22,684	22,701
当中間期変動額		
剰余金の配当	△16,005	△12,318
中間純利益	16,494	11,879
自己株式の処分	—	△1
当中間期変動額合計	489	△440
当中間期末残高	23,174	22,260

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
自己株式		
前期末残高	△638	△927
当中間期変動額		
自己株式の取得	△83	△10
自己株式の処分	9	3
当中間期変動額合計	△74	△6
当中間期末残高	△712	△933
株主資本合計		
前期末残高	591,549	649,357
当中間期変動額		
剰余金の配当	△16,005	△12,318
中間純利益	16,494	11,879
自己株式の取得	△83	△10
自己株式の処分	9	2
当中間期変動額合計	415	△447
当中間期末残高	591,964	648,910
純資産合計		
前期末残高	591,549	649,357
当中間期変動額		
剰余金の配当	△16,005	△12,318
中間純利益	16,494	11,879
自己株式の取得	△83	△10
自己株式の処分	9	2
当中間期変動額合計	415	△447
当中間期末残高	591,964	648,910

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。